

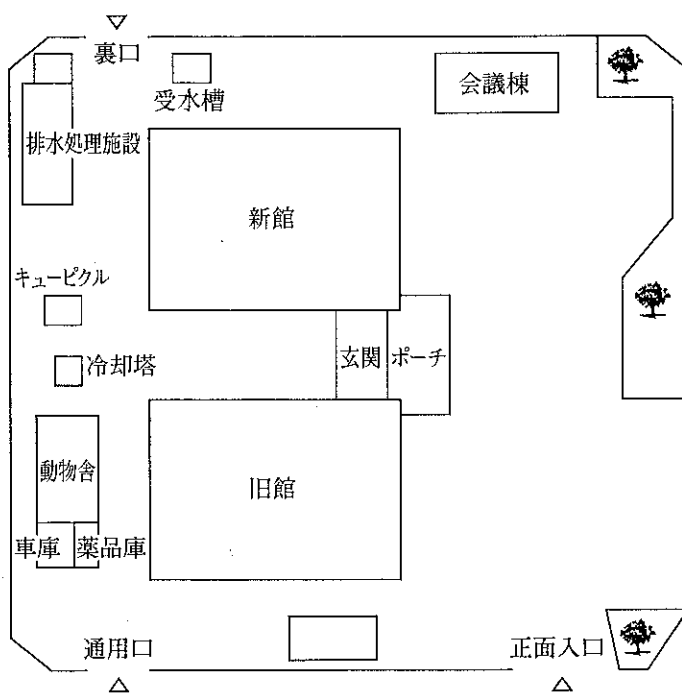
# 1 総説

## 1 治 革

昭和23年 8月	厚生省三局長通達「地方衛生研究所設置要綱」に基づき、「鳥取県衛生研究所設置規程」の制定により鳥取県衛生試験所及び鳥取県細菌検査所が廃止され、鳥取市東町一丁目220番地に鳥取県衛生研究所が設置された。
昭和28年 5月	鳥取県庁行政組織規程の制定により、甲類附属機関として設定され、内部組織も庶務係、理化学試験部、細菌検査部の1係2部制となる。
昭和28年 8月	鳥取市吉方271番地の1に木造二階建庁舎が新築され移転した。
昭和28年 9月	鳥取県告示第373号により廨に指定される。
昭和38年 5月	従来の主任制を廃止し、庶務係、理化学試験科、細菌検査科の1係2科制に改組された。
昭和44年 3月	鳥取市松並町二丁目470番地に鉄筋コンクリート三階建庁舎が新築され移転した。
昭和45年 4月	機構の強化を図るため、庶務係を総務課に、理化学試験科を、食品化学科と環境公害科に分離改組するとともに細菌検査科を微生物科に改称し、1課3科制になった。
昭和48年 3月	公害関係業務の増加と機器整備のため、鉄筋コンクリート3階建の庁舎が増築された。
昭和48年 4月	従来の環境公害科を水質調査科、水質環境科、大気騒音科に分科改組し、1課5科制に強化された。
昭和51年 3月	廃水処理施設が新設された。
平成 6年 4月	保健所の試験検査業務のうち水質関係検査が衛生研究所に引き継がれ、水質調査科を水質調査第一科、水質調査第二科に改組し、1課6科制となる。

## 2 施 設

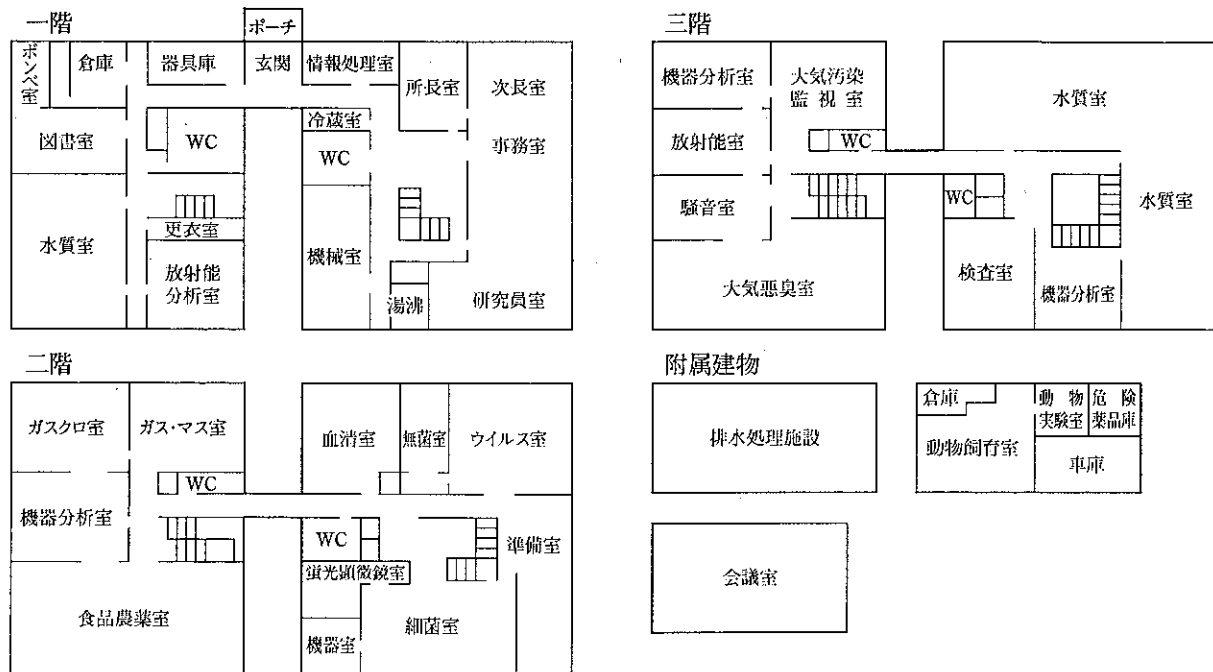
構内配置図



施設の概要

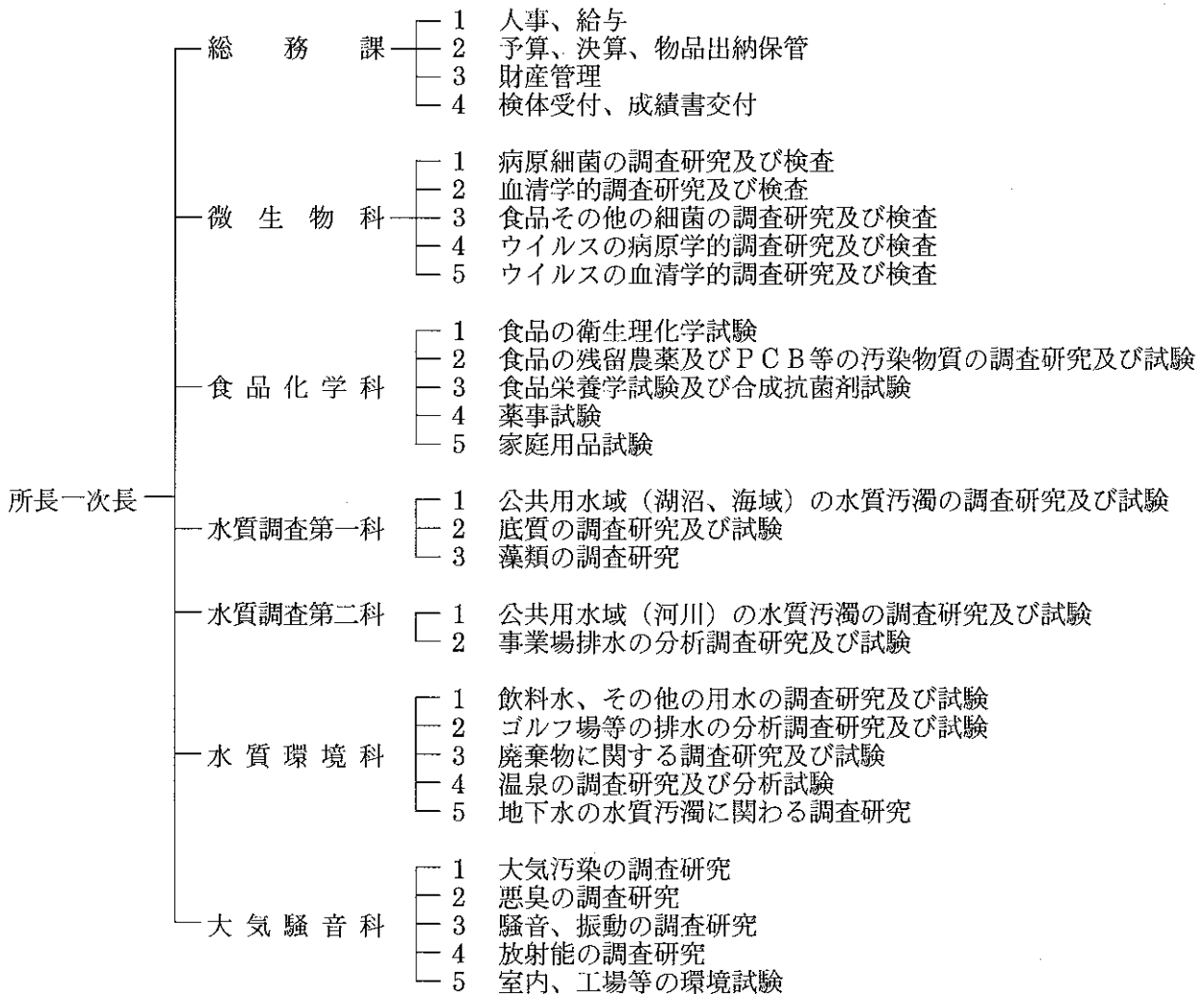
所在地	鳥取市松並町二丁目470番地
敷地面積	2,372㎡
[旧 館]	
1 構造	鉄筋コンクリート造
本館	三階建 延991.35㎡
附属建物	補強コンクリートブロック造
	平屋建 延72.00㎡
2 完工	昭和44年3月25日
[新 館]	
1 構造	鉄筋コンクリート造
	三階建 延856.73㎡
2 完工	昭和48年3月31日
[廃水処理施設]	
1 構造	鉄骨ブロック造
	平屋・一部二階建 延45.00㎡
2 完工	昭和51年3月25日
[会議室]	
1 構造	軽量鉄骨造
	平屋建 延48.60㎡
2 完工	平成6年12月16日

### 建物平面図



### 3 機構・組織

平成10年4月1日現在



## 4 職 員

## (1) 職員の配置

平成10年4月1日現在

職 名	現員	現 員 内 訳								
		所 長	次 長	総務課	微生物科	食化学科	水調第1科	質査第2科	水質環境科	大気騒音科
所 長(技)	1	1								
次 長(事)	1		1							
〃 (技)	1		1							
総務課 課長(事)	1			1						
主 任(事)	1			1						
専門研究員兼科長(技)	5				1	1	1		1	1
科 長(技)	1							1		
研 究 員(技)	16				4	2	3	2	2	3
主任運転士(技)	1			1						
主任ボイラー技士(技)	1			1						
主任検査助手(技)	2					1				1
検 査 助 手(技)	2						1	1		
合 計	33	1	2	4	5	4	5	4	3	5

## (2) 事務分掌

課・科名	職 名	氏 名	分 掌 事 務
総 務 課	所 長	佐々木一彦	課の総括、出納員、人事 歳入、歳出、給与、共済、厚生 自動車運転管理 ボイラー、庁舎・物品管理、文書収発
	次 長	村田憲太郎	
	次 長	田村 知央	
	課 長	西尾 寛茂	
	主 任	松本 京子	
	主任運転士	幸山登喜雄	
	主任ボイラー技士	今嶋 進	
微 生 物 科	専門研究員兼科長	太田垣公利	科の総括、食中毒
	研 究 員	川本 歩	病原ウイルス、感染症サーベイランス、エイズ検査
	研 究 員	森原 秀雄	飲料水の細菌検査、レジオネラ汚染調査、動物実験
	研 究 員	戎谷佐知子	感染症病院情報、病原細菌
	研 究 員	田中さゆり	伝染病流行予測、免疫血清

課・科名	職名	氏名	分掌事務
食品化学科	専門研究員兼科長	細井 亨	科の総括、合成抗菌剤
	研究員	橋本 賢生	P C B、食品添加物、薬事、家庭用品
	研究員	朝倉 学	重金属、栄養成分、食品残留農薬、包装容器
	主任検査助手	谷口 早苗	試験研究助手
水質調査第一科	専門研究員兼科長	南條 吉之	科の総括、植生浄化
	研究員	宮原 典正	海域の水質、プランクトン調査
	研究員	道上 隆文	湖沼の水質、水環境調査
	研究員	九鬼 貴弘	湖沼の有機汚濁物質、底質
	検査助手	伊藤 泉	試験研究助手
水質調査第二科	科長	稲村 正博	科の総括、公共用水域の水質、事業場排水
	研究員	藤田 紀子	公共用水域の水質、事業場排水
	研究員	森 明寛	公共用水域の水質、事業場排水
	検査助手	田村 寿美子	試験研究助手
水質循環科	専門研究員兼科長	林田 博通	科の総括、温泉
	研究員	田中 卓実	ゴルフ場の農薬、地下水
	研究員	木村 優子	重金属、水道原水、産業廃棄物
大気騒音科	専門研究員兼科長	尾田 喜夫	科の総括、航空機騒音
	研究員	洞崎 和徳	大気発生源調査、大気中化学物質
	研究員	西尾 直子	悪臭、放射能調査
	研究員	木村 義明	酸性雨、大気環境、騒音振動
	主任検査助手	坂田 裕子	試験研究助手

## 5 歳入・歳出決算

### (1) 歳入決算

(単位：円)

科目名	予算令達額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
使用料及び手数料	0	53,600	53,600	0	0
手数料	0	53,600	53,600	0	0
衛生手数料	0	53,600	53,600	0	0
合計	0	53,600	53,600	0	0

(付記) 別に鳥取県収入証紙による手数料収入 円1,055,860円

## (2) 歳出決算

(単位：円)

科 目 名	予算令達額	支出済額	不 用 額
総 務 費	2,220,967	2,220,967	0
総 務 管 理 費	327,634	327,634	0
人 事 管 理 費	327,634	327,634	0
企 画 費	1,893,333	1,893,333	0
企 画 総 務 費	1,893,333	1,893,333	0
衛 生 費	87,875,258	87,875,258	0
公 衆 衛 生 費	35,137,252	35,137,252	0
公 衆 衛 生 総 務 費	85,000	85,000	0
予 防 費	6,974,048	6,974,048	0
衛 生 研 究 所 費	27,855,079	27,855,079	0
衛 生 試 験 検 査 機 器 整 備 費	223,125	223,125	0
環 境 衛 生 費	52,494,962	52,494,962	0
食 品 衛 生 指 導 費	5,634,205	5,634,205	0
環 境 衛 生 指 導 費	5,248,982	5,248,982	0
環 境 保 全 費	41,611,775	41,611,775	0
保 健 所 費	180,582	180,582	0
保 健 所 費	180,582	180,582	0
医 務 費	62,462	62,462	0
薬 務 費	62,462	62,462	0
農 林 水 産 業 費	407,222	407,222	0
水 産 業 費	407,222	407,222	0
水 産 試 験 場 費	407,222	407,222	0
合 計	90,503,447	90,503,447	0

## 6 集 談 会

## 第1回 平成10年2月19日

中学生の風疹抗体保有状況について	微生物科	木村 義明
1997年に分離した腸管出血性大腸菌のパルスフィールドゲル電気泳動法によるDNA解析		
エンドクリン問題について	微生物科	戎谷佐知子
湖山池の流入河川水及び底泥間隙水を用いた藻類増殖試験結果	食品化学科	朝倉 学
鳥取県内3湖沼代表地点の底質間隙水の調査について	水質調査第一科	南條 吉之
非特定汚染源調査について	水質調査第一科	九鬼 貴弘
タンカー・ナホトカ号事故と流出重油（含有量分析の検討）	水質調査第二科	藤井 宣人
トリクロロエチレン等の発生源周辺調査結果について	水質環境科	稲村 正博
鳥取県中部地域におけるウラン鉱山捨石堆積場周辺の環境放射能調査について	大気騒音科	田中 長義
	大気騒音科	洞崎 和徳

## 第2回 平成10年3月19日

地研と保健所の連携による相互の機能強化について（腸管出血性大腸菌に関する共同研究の試み）	所 長	平賀 瑞雄
新型インフルエンザについて	微生物科	太田垣公利
鳥取三山口簡易水道水源のクリプトスポリジウム汚染について	微生物科	川本 歩
レジオネラ属菌実体把握調査について	微生物科	田中さゆり
検査法の評価について	食品化学科	福田 明彦
地方衛生研究所モデル研修会における「フグ種の鑑別とフグ毒」について（誌上）		
	食品化学科	橋本 賢生
中海の水質調査結果について一考察	水質調査第一科	宮原 典正
湖山池における水生植物を利用した窒素、リンの除法について	水質調査第一科	道上 隆文
ディスク型固相抽出による水質環境基準農薬等の分析について（第二報）		
	水質調査第二科	藤田 紀子
雨水中のT-N、T-Pについて	水質調査第二科	松本 範夫
鳥取県内の温泉の概況及び経年変化（温泉実態調査1983～1997）		
	水質環境科	林田 博通
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令等の一部改正について	水質環境科	木村 優子
降水による空間放射線量率上昇について（誌上）	大気騒音科	田中 卓実
鳥取県における降水成分調査について	大気騒音科	若林 健二

## 7 学会・研究会参加

### (微生物科)

- 1 腸管出血性大腸菌O157のDNA解析について  
戎谷佐知子  
第40回鳥取県公衆衛生学会 1997. 7.23 鳥取市  
第43回中国地区公衆衛生学会 1997. 9. 4 松江市
- 2 成人にみられたHuman parvo virusB19感染例  
川本 歩  
第67回西日本感染症学会 1997.11.27 那覇市
- 3 中学生の風疹抗体保有状況  
木村義明  
山陰感染症懇話会第18回鳥取例会 1997.11.30 倉吉市

### (食品化学科)

- 1 輸入食品の安全性に関する調査について(第1報)  
朝倉 学 伊藤敏行 田中卓実 林田博通 本田達之助 田中長義  
第40回鳥取県公衆衛生学会 1997. 7.23 鳥取市  
第43回中国地区公衆衛生学会 1997. 9. 4 松江市
- 2 母と子のアレルギー性疾患に関する調査について  
橋本賢生  
鳥取県行政栄養士研修会 1997. 7.31 鳥取市  
鳥取県母子保健指導者研修会 1997. 9.17 鳥取市

### (水質調査第1科)

- 1 鳥取県内3湖沼代表地点の底質間隙水の調査について  
九鬼貴弘 南條吉之 福田明彦 宮原典正 道上隆文  
第24回環境保全・公害防止研究発表会 1997.11.19 那覇市
- 2 湖山池における水生植物を用いた水質浄化について  
道上隆文 南條吉之 宮原典正 九鬼貴弘 福田明彦 洞崎和徳  
全国公害研協議会中国・四国支部第24回水質部会 1997.10.23 山口市
- 3 中海の湖水を用いた藻類増殖試験結果について  
南條吉之  
第32回日本水環境学会 1998. 3.16 習志野市
- 4 湖山池の流入河川及び底泥間隙水を用いた藻類増殖試験結果について  
南條吉之  
第32回日本水環境学会 1998. 3.16 習志野市



## (水質環境科)

## 1 県下のゴルフ場排水中の農薬の検出状況について

稲村正博

第40回鳥取県公衆衛生学会

1997. 7.23 鳥取市

第43回中国地区公衆衛生学会

1997. 9. 4 松江市

## (大気騒音科)

## 1 鳥取県中部地域におけるウラン鉱山捨石堆積場周辺の環境放射能調査について

洞崎和徳

第40回鳥取県公衆衛生学会

1997. 7.23 鳥取市

## 2 鳥取県における放射能調査

田中卓実

第39回環境放射能調査研究会

1997.12. 3 千葉市

## 8 試験検査件数

## (1) 種類別試験検査件数 (平成9年度)

種 別		件数	種 別		件数		
細菌検査	分離・同定・検出(01)	701	医薬品・家庭用品等検査	毒劇物(41)			
	抗体検査(02)			家庭用品(42)	49		
	化学療法剤に対する耐性検査(03)			その他(43)			
結核	分離・同定・検出(04)		栄養関係調査(44)				
	化学療法剤に対する耐性検査(05)		水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査(45)		
性病	梅毒(06)				理化学的検査(46)	24	
	その他(07)				生物学的検査(47)		
ケウツイルア等検査	定分離・検出同	3,677	廃棄物関係検査	飲用水	細菌学的検査(48)	9	
					理化学的検査(49)		
				クラミジア・マイコプラズマ(10)		利用水等(プール水等を含む)	細菌学的検査(50)
	抗体検査	ウイルス(11)		54	理化学的検査(51)		11
		リケッチア(12)			一般廃棄物		細菌学的検査(52)
クラミジア・マイコプラズマ(13)		理化学的検査(53)	9				
病原微生物の動物試験(14)			生物学的検査(54)				
原虫・寄生虫等	原虫(15)	22	産業廃棄物	細菌学的検査(55)			
	寄生虫(16)			理化学的検査(56)	67		
	そ族・節足動物(17)			生物学的検査(57)			
	真菌・その他(18)			環境・公害関係検査	S O <sub>2</sub> ・N O <sub>2</sub> ・O X等(58)	4,676	
食中毒	病原微生物検査	細菌(19)	80		浮遊粒子状物質(59)	383	
		ウイルス(20)			降下煤塵(60)		
	理化学的検査(21)		有害化学物質・重金属等(61)		2		
	その他(22)		酸性雨(62)		237		
臨床検査	血液検査(血液一般検査)(23)				その他(63)		
	血清等検査	エイズ(H I V)検査(24)	130	水質検査	公共用水域(64)	3,317	
		H B s 抗原、抗体検査(25)			工場・事業場排水(65)	920	
		その他(26)			浄化槽放流水(66)		
	その他(26)		その他(67)		166		
	生化学検査	生化学検査(27)			騒音・振動(68)	67	
		先天性代謝異常検査(28)			悪臭検査(69)	5	
		尿検査	尿一般(29)			土壌・底質検査(70)	371
	神経芽細胞腫(30)			環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類(71)	3,663	
	その他(31)				その他(72)		
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)(32)			一般室内環境(73)				
その他(33)			その他(74)				
食品等検査	細菌学的検査(34)		276	放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)(75)	523	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)(35)		128		食品(76)	16	
	その他(36)		4		その他(77)	31	
医薬品・家庭用品等検査	医薬品(37)		20	温泉(鉱泉)泉質検査(78)		208	
	医薬部外品(38)			その他(79)		22	
	化粧品(39)			合計		19,874	
	医療用具(40)						

## (2) 依頼先別試験検査受付件数 (平成9年度)

区 分 種 別	依 頼 に よ る も の				自らの調査・ 研究として 行 う も の
	住 民	保 健 所	保健所以外 の行政機関	その他(医 療機関、 学 校、 事業所等)	
細菌検査		230	1	87	383
結核					
性病					
ウイルス・リケッチア等検査			1,645	4	2,082
病原微生物の動物試験					
原虫・寄生虫等			10		12
食中毒		80			
臨床検査		130			
食品等検査		351	11		46
薬品・家庭用品等検査		49		20	
栄養関係調査					
水道等水質検査	3	26	21		
廃棄物関係検査		34			42
環境公害関係検査	2	56	6,633		7,116
放射能			570		
温泉(鉱泉)泉質検査	9				199
その他		22			
合 計	14	978	8,891	111	9,880